

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 扶桑薬品工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番10号	
本票作成	部署名：生産本部岡山工場施設課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品製造 従業員：295人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県浅口郡里庄町里見9033	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量		目標年度(平成 26 年度)	
	7,969 t CO ₂	7,875 t CO ₂		7,810 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(平成 25) 年度排出量	
	①	岡山工場		7,875 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 8.4 %	2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産金額	原単位当たり排出量			
		基準年度	(25) 年度	目標年度	
		68.11 t CO ₂ /(億円)	73.81 t CO ₂ /(億円)	66.75 t CO ₂ /(億円)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は減産と成り生産金額は低下したが、生産設備の空調等生産量に左右されない基本エネルギー使用量は減少せず原単位が悪化した。 ・医薬品製造関係における環境基準値が制限され基本エネルギー使用量が増加した。 ・省エネ設備更新は計画通りに実施し、温室効果ガス排出量は約19tCO₂削減した。 					

【推進体制】

- ・省エネルギー法に基づきエネルギー推進者を中心としたエネルギー管理組織を編成。
- ・各工場では、エネルギー管理責任者を中心に省エネルギーを推進。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(25年度実施分) <ul style="list-style-type: none">・ボイラ7・8号送風ファンインバーター制御 (CO2削減量 17tCO2/年)・滅菌冷水ポンプ更新 22→11kW 高効率モーター (CO2削減量 1tCO2/年)・水処理冷却塔給水ポンプ更新 高効率モーター (CO2削減量 1tCO2/年) (今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none">・高圧トランス更新2期 (CO2削減量 28tCO2/年)・ボイラ台数制御 (CO2削減量 83tCO2/年)・水処理冷却塔給水配管改造 (CO2削減量 7tCO2/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・機器の更新及び新設時に省エネ性の高い機器やシステムを選択する。
- ・省エネルギー実施の為、既設製造ラインにエネルギー計測器（電力・エア）及び非生産室に温湿度測定器を設置し見える化を強化する。
- ・電力はデマンド制御を行い設定値を超過させない。
- ・環境省推進のライトダウンキャンペーンに参加する。
- ・新入社員研修時、省エネルギー及び環境の教育訓練を実施する。